

TAKE
FREE



第三回

社会人落語日本一決定戦

総集編

12月14日 社会人落語日本一寄席 開催決定!



【総評】 大会総括 桂三枝

【インタビュー】 第三回ファイナリスト

KAMI RAKUGO

BIMONTHLY
MAGAZINE
2011 No.22

11-12



二松亭 ちゃん平

齋須博 / 44歳 / 高校教師 / 茨城県



学校へ行こう
生徒たちの優しさ、心のつながりを描こうと、心がけました

昨年、池田からの帰りに、「よし、来年は創作をやろう」と。以来、頭の隅では常にこの大会を意識しながらネタづくりをしてきました。

落語を始めたのは大学時代の落研がきっかけです。高校教師として茨城県に赴いてからは小さな施設を回ったりと、たったひとりで落語を演じてきました。そんな私に、社会人落語家としての幅を広げてくれたのがこの大会でした。3年前の初代大会に参加し、全国の仲間たちと知り合えたこと。それが何よりもうれしかった。だからこそ今年、より覚悟をもってのぞみたいと…

そんな中、大きな転機となったのが震災での経験です。私のいる茨城でも被害は甚大でした。体育館が急場の避難所になるなど、「落語なんてしている場合ではないだろう」という気持ちに押しつぶされそうになりました。それでも仲間の社会人落語家から、「苦しんでいる人たちにも笑いは必要

なはずだ。落語ならば不謹慎ではない笑いを生むことができる。」そんな言葉に勇気もらいました。体育館で寝泊まりした日、数少ない毛布や食べ物を上級生が下級生に分け与える、そんな生徒たちの姿に改めて人のぬくもりを教わった気がします。そういったものを表現することができれば、自分らしい落語ができるのではないかと。「学校へ行こう(創作)」は、そんな生徒たちの優しさ、心のつながりを描こうと心がけました。教壇から生徒たちを見渡し喋っている教師、そんな囁きの景色が、大きな決勝のホールでも活きたのではないのでしょうか。

大会後の、反響の大きさは驚くばかりです。三者面談では保護者から「おめでとう」と思われ祝福を頂いたり…。実は、今年の学園祭で落語をやることになったんです！茨城県水戸市の社会人落語家として、これからも頑張ります！

決勝進出が目標でしたが、選ばれた時は、名だたる社会人落語家の中で私とくきが選ばれて良かったのかと不安で一杯でした。決勝の舞台上上がる前は少し神経質になってしまいましたが、周囲の激励とナマの出囃子で気持ちよく高座に上がり、最高のお客様の前で120%の斬ができて、大満足でした。大会後、地元新聞に大きく報道して頂いたこともあり、友人知人からお祝いのメールなどを数多くいただきました。

第2位

三流亭 楽々

人山隆 / 57歳 / 無職 / 新潟県



白昼の交差点

この春、警察官を退職し、現在は落語による防犯・交通関係の出前口演や「新潟落語会」での活動を行っています。今後もお客様に楽しんでいただければ私も楽しいと言います。「楽々」の精神を忘れずにのんびりぼちぼちやって行きたいと思えます。

第3位 東家 静香

富島いづみ / 50歳 / アルバイト・主婦 / 大阪府



権助魚

事前審査の通過で喜んでいたら、です。決勝進出の名前を呼ばれた時は、とにかく信じられませんでした。「このメンバーの中に私がいいのかわ」という戸惑いの気持ちもありました。前日の晩は、緊張でなにも喉をとらず、眠ろうとしても決勝の夢を見ては目が覚めるほど。決勝の舞台には、とにかく落ち着いて、笑顔で演じることをだけを考えてのぞきました。自分の出番を終えた後は、皆さんの舞台を「すごいなあ、すばらしいなあ」と感心しきりで聞いていました。

それが三位にまでなってしまう、驚きのひと言につきます。ただ周囲の落語仲間が、自分のことのように喜んでくれたのが本当にうれしかったです。これからも今まで通り背伸びせず、仲間と一緒に落語を楽しみたいと思えます。



ていてい亭お酢借

高嶺敦子 / 53歳 / タレント / 大阪府



去年の予選では真中がボンと抜けてしまったんです。今年は時間いっぱい使わせていただき「よし！」という気持ちにはありましたが、まさか決勝戦に残るとは…。本業が漫才師にも関わらず、決勝の舞台では、あがるわ、囁わ、うわずるわ：あつという間に終わってしまったように感じます。ひとり何人もを演じ分ける落語の魅力を感じる今、次の目標は、やっぱり第四回の名人奪取や！

離婚式

横井正幸 / 46歳 / 自営業 / 愛知県



決勝に3年連続選ばれたという事で、本当に名誉であり、嬉しかったです。3年連続の入賞とはいきませんでした。が、アゼリアのお客さんが本当によく笑って下さり自分としては大満足。今後は社会人落語家として、プロの師匠方とはまた違ったスタンスで、落語の『布教』に取り組んでいきたいと思えます。面白いネタを作って演じ、ひとりでも多くの人に笑っていただくことに尽きますね。



おきらく亭すい好

真野座 / 50歳 / 派遣事務員 / 沖縄県

決勝進出者の発表で翌日同じ舞台にたつメンバーと並んだ時は、沖縄で落語やつてよかったなという気持ちがあつてよかったです。決勝戦は、ナマの出囃子や囀り物がなつただけでも鳥肌もの。あれだけのお客さまの前で落語するのは初めてのことで緊張しましたが、いい経験でした。沖縄ではまだまだ落語が市民権を得ていませんので、今後、落語のできる場所を少しずつ増やして行くことが目標です。

全国の仲間と結ばれた 社会人落語の輪

千里家圓九

西本文洋 / 43歳 / 公務員 / 大阪府



自分では予選の出来がまいちだと思っていましたので、まさか決勝に残るとはと驚きました。決勝の舞台は予選よりもさらに緊張して…。のどが渴いて…。予選と緊張は同じ設定だったので、時間的には2分の余裕があるはずなのに、全く余裕がありませんでした。これからも古典落語を中心にやりたいと思います。短いネタもドンドン覚えたいですし、勉強してまた来年！

看板の一

井上信行 / 46歳 / 会社員 / 岐阜県



予選ではどの演者さんもおもしろく半ばあきらめていただけに本当に驚きました。そんな中から自分が決勝に選ばれたのだと思うと、身が引き締まるように、またとなく楽しく思える。両方の気持ちで、舞台にのぞみました。大会後は、決勝進出を我が事のように喜んでくださる方が多くいらつしやう涙の出る思いでした。そんな皆さんに喜んでいただけるような結果を目指し、精進します。

酔亭化枝

辻健彰 / 47歳 / 防務屋 / 山梨県



決勝の舞台は、とにかく楽しくてしようがなかったです。初めてナマのお囃子、しかも大好きな『伊勢津』に背中を押していただいて、ピョンピョン跳ねながら高座に向かいました。今後ひとつでも多くの学童クラブや小学校をまわって、たくさんの子どもたちにおなかを抱えて笑ってもらいたい。また大会で知り合った全国のお仲間の皆さんと、それぞれの地で落語会を開いて、交流を深めていきたいですね。

野ざらし

「A子にしゃんた」 / 徳島 / 本業 / 徳島県



3年連続の決勝戦。社会人落語家としての最高の舞台であることを実感しました。一緒に戦った仲間の想いを胸に、悔いを残さぬよう一生懸命、そして自分らしく落語をさせて頂き、終わった後は爽やかな気持ちでいっぱいでした。この大会をきっかけに、今後たくさんの方々の前で落語をさせていただきます。これからは落語のつ力にあやかり、自分らしさを表現していきたいと思えます。

- 田倉家 かし
- 夢野家 山吉
- 夢野家 連吉
- 甲家 達典
- 笑々亭のふ太
- 日暮亭 白雪
- 真つ亭 野藤
- ていてい亭お酢借
- 三日月亭アツシ
- 炎災亭 珍歌
- 天満家 輝ちり
- すまいる亭 誠加
- 浪浪亭 不良堂
- 千里家 英瑠
- 権三川亭 真幸
- 三流亭 剛々〇
- すまいる亭 空海
- おきらく亭 すい好
- 権三川亭 結の助
- 殿孫亭 とんぼ
- 神楽亭 わいん
- 神楽家 山神
- 天満家 こく福
- 笑々亭 謙三
- 権三川亭 風鈴
- 五月家 ちんく
- 鹿鳴家 春水
- 虎乃家 光甲
- 五月家 慎の助
- スガ亭 パンビ
- 井筒家 磯七
- 満福亭 ゆの月
- 豊新 昌治
- 伴美家 羽織
- まき亭 ちんぐろ
- 藤亭 京太郎
- 東家 静香
- 龍家 隆三
- 古都家 雄助
- 花の家 ケイトウ
- 春日家 ちんぐろ
- 廣嶋家 徳をむら
- 茶法家 房つん
- 喜楽亭 笑吉
- 万家 遊英
- 都の亭 ぼつし
- 権三川亭 笑雄
- 廣嶋家 まさる
- 万年堂 夢三郎
- 日向亭 英
- 花伝亭 水蓮
- 猿山亭 せん吉
- 照橋亭 いちは
- このころ 八橋
- 辨財亭 ワロウ
- すまいる亭 千鳥
- 願いの亭 宗走
- 五月家 一平
- 天神亭 静千

全国から笑顔のギフト、届きました。

9月17日(土)予選
9月18日(日)決勝戦

全国社会人落語家の頂点をかけた2日間。初日は市内6会場での予選会。各会場をつなぐ通りでは歩行者天国が開かれ、街は落語一色に。

翌日は、桂三枝、三遊亭円楽両師による二人会。ファイナリスト10名による決勝戦が行われました。そして物語は、また来年へ……

落語
みゆーじあむ
桂 春之輔

池田会館
桂 千朝

コミュニティセンター
笑福亭 呂鶴

栄町一番街
ゆいゆいプラザ
林家 染二

ピアまるセンター
桂 九雀

池田駅前
南会館
桂 枝三郎



- 五月家 一平
天神亭 幹千
喜徳家 哀宗
ボイ家 春時
ジャンボ 衣笠
ちやり亭 山球
美谷亭 いわし
ひろつちやん
金河亭 志功
天神亭 吉幸
酒飲亭 いさる
竜宮亭 無風
花伝亭 上の景
近江家 八景
花伝亭 リス子
南遊亭 栄歌
びんぼの亭 遊月
山金家 文々
八軒家 康法郎
五月家 卓月
微笑亭 幸心太
浪遊亭 崇興
夢遊亭 山遊
薫風亭 博太呂
上在亭 れん
ささい亭 時之代
池田家 康方
浪華家 達之助
猪名川亭 綱馬
東家 三命生
藤乃家 美里
五月家 千里
花伝亭 晴れ太
福々亭 おしやれ
仁義士 亮平 芳新
秋田家 ぼつ志
永楽亭 のん風
醉亭 化枝
なまき亭 無風
にしやんた
また亭 みてい
二浦家 金曲
七瀬亭 寅三郎
上在亭 池題
天神亭 おり鶴
圓丁亭 日が志
ささの亭 三雄
天満家 豊雄
また亭 幸の
長宗亭 凡太
浪遊亭 春乃
花伝亭 直来
名月亭 かへや

【総評】

桂三枝



プロに近いアマチュアではなく、プロの社会人落語が生まれた——

初回より二回目、そして今回と、作品の完成度をふくめて、確実にレベルが上がっているように感じます。これまで、「プロではない社会人としての落語を」といつてきました。ただただ枕や噺の中に仕事の経験を出すというだけでない、そこに落語の魅力を盛り込んだ社会人落語としてのカタチができあがりつつあるのではないのでしょうか。落語の魅力というのは、やはり人間の魅力だと思います。それぞれが落語という世界観と向き合う中で、何を学び、何を発見したか。器用に演じるというよりは、どれだけ深く、本人の落語を掘り下げたかが重要なことです。

決勝戦、私の評価で一位と二位の差は0.5点、それだけ素晴らしく、白熱した舞台でした。グランプリになられた方は、中盤のインパクト、そして表現力が優れていました。一年間、しっかりと時間をかけて自分の落語に取り組みましたのではないのでしょうか。また、全体の完成度の高さを感じたのが二位の方です。それに、あの敬礼はやっぱりプロには真似できません。そういった意味でも、今回の大会では、プロに近いアマチュアではなく、プロの社会人落語が生まれたといってもいいかもしれません。



今回、二位までが創作落語でしたが、古典だから創作だからといった訳では決してありません。創作落語の場合、個性を出しやすいという利点はあるでしょうが、反面、そこに溺れやすい、自己陶醉してしまいがちという側面もあります。古典であれば、すでに完成された作品をいかに自分なりに咀嚼できるか。限られた時間内でどのように噺を構成し、自分らしさを出せるか。その構成の仕方にこそ、その方の魅力といったものが表れるはずなんです。

決勝に残られた方はそれぞれに社会人としての知恵であり、センスとといったものを見せてくれたと思います。私も大いに勉強させられました。

特に若い落語家にはこの大会をぜひとも見てもらいたい。社会人落語家の皆さんの高座へむかう姿勢や、その爽やかさ。そういったものに刺激を受けることで、普段忘れがちなプロとしての在り方が見えてくるはずなんです。

次回以降、これまで積み上げてきた「らしさ」を活かしながら、「よう落語は知らん、はちゃめちややけどおもしろい！」といった若い力にも期待したいですね。また来年、池田で皆様とお会いできることを心より楽しみにしております。

【主催】社会人落語日本一決定戦実行委員会 【協賛】日清食品ホールディングス株式会社
 【協賛】池田ライオンズクラブ 【特別後援】公益社団法人 上方落語協会 【後援】大阪府

第三回 社会人落語日本一決定戦 大会データ

会場観客総数		都道府県別		年代別	
予選6会場 (落語みゅーじあむ/コミュニティセンター/いけだピアまるセンター/池田会館/栄町一番街ゆいゆいプラザ/池田駅前南会館)	3236名	北海道 1名	愛知県 4名	20代	10名
決勝会場(お祭り広場・大落語会含む)	4265名	青森県 1名	滋賀県 5名	30代	29名
合計	7501名	福島県 4名	京都府 2名	40代	50名
		秋田県 1名	大阪府 60名	50代	44名
		山形県 1名	兵庫県 30名	60代	21名
		茨城県 1名	奈良県 4名	70代	8名
		栃木県 2名	和歌山県 1名	80代	1名
		埼玉県 6名	岡山県 1名	非公開	7名
		千葉県 6名	広島県 4名		
		東京都 20名	徳島県 1名		
		神奈川県 3名	香川県 3名		
		新潟県 2名	長崎県 2名		
		山梨県 1名	大分県 1名		
		岐阜県 1名	沖縄県 1名		
		福井県 1名			
				男性 123名 / 女性 47名	合計 170名

大会特別興行
三枝・円楽 二人会 ~演目一覧~

- 桂 かい枝 「ハル子とカズ子」
- 桂 三 歩 「神様の御臨終」
- 三遊亭 円楽 「お化け長屋」
- 桂 枝 三郎 「転宅」
- 桂 三 枝 「ハワイの夜」

12月14日(水) 第3回 社会人落語日本一決定戦記念植樹&日本一寄席開催!



名人再・集・結!

第三回大会グランプリから、三位までが揃い踏み!

9月17、18日の2日間にわたり開催された第三回社会人落語日本一決定戦。多くの感動と新たな幕開けを予感させた決勝の舞台、その1~3位までの高座が落語みゅーじあむで再演されます。また開演前には五月山にて、桂三枝師

匠お立ち会いのもと、大会記念植樹が行われます。本年度、日本一の凱旋公演、名人たちの笑いをもう一度!大会を見逃した方も必見です。社会人落語の魅力をつぶりとお楽しみ下さい。

▶10時45分~11時15分
第3回 社会人落語日本一決定戦記念植樹

【場所】五月山公園
【出演者】桂三枝師匠/池田市長(参加予定)/
二松亭 ちゃん平/三流亭 楽々/東家 静香

▶13時~14時30分
第3回 落語みゅーじあむ 社会人落語日本一寄席

出演/演目
第三位 東家 静香
準優勝 三流亭 楽々
三代目名人 二松亭 ちゃん平

【本戸銭】前売500円 当日600円

お問い合わせ・チケットの事前予約先
落語みゅーじあむ ☎072-753-4440



〒563-0058 大阪府池田市栄本町7-3
電話:072-753-4440 FAX:072-753-4447
開館時間:11時~19時
休館日:火曜日、年末年始※火曜祝日の場合、翌日休館
入館料:無料(落語会などは本戸銭が必要です)
※専用駐車場はございません。



最寄駅:阪急電車宝塚線「池田駅」下車
(阪急梅田駅から急行で約20分)
改札を出て栄町方面へ徒歩約7分

協力 公認社団法人 上方落語協会

落語みゅーじあむ イベントスケジュール

霜月 11月 師走 12月

【休館日】1日(火)
11月5日(土)9時30分~正午
第5期アマチュア落語講座(初級)
アマチュア落語講座(中級・上級)
【休館日】8日(火)
11月12日(土)9時30分~正午
アマチュア落語講座(中級・上級)
11月12日(土)14時~
第60回 落語みゅーじあむ寄席

月亭 八斗「代書屋」
桂 春 蝶「山内一豊と妻」
桂 米 八「おたのしみ」

【本戸銭】前売1000円 当日1500円
※前売券発売中(電話予約可 ☎072-753-4440)

【休館日】15日(火)
11月19日(土)9時30分~正午
第5期アマチュア落語講座(初級)
アマチュア落語講座(中級・上級)

【休館日】22日(火)
11月26日(土)9時30分~正午
アマチュア落語講座(中級・上級)
【休館日】29日(火)

12月1日(木)~12月4日(日)まで
文化DAYのため10時間館

12月3日(土)9時30分~正午
第5期アマチュア落語講座(初級)
アマチュア落語講座(中級・上級)

【休館日】6日(火)
12月10日(土)14時~
第61回 落語みゅーじあむ寄席

笑福亭 松五「御祝儀」
林家 笑丸「笑丸落語」
笑福亭 仁福「お楽しみ」

【本戸銭】前売1000円 当日1500円
※前売券発売中(電話予約可 ☎072-753-4440)

【休館日】13日(火)
12月14日(水)13時~
第3回 落語みゅーじあむ 社会人落語日本一寄席寄席

【本戸銭】前売500円 当日600円
※前売券発売中(電話予約可 ☎072-753-4440)

【休館日】20日(火)
【休館日】27日(火)

【お知らせ】年末年始のため、右記期間休館日とさせていただきます。12月30日(金)~1月3日(火)